

平塚で1番

巨大な日産車体株式会社の謎

自動車を造るのは人の力



豆記者
まめ きしだ

きがわ だいきち
木川 大吉



くの さえ
九野 彩絵



やまおか ゆい
山岡 優衣

平塚で働いている人の数が一番多いのは日産車体株式会社です。わたしたちは、広報課長の太田さんにお話を聞いたり、工場の中を案内してもらったりしました。

日産車体は、日本のいろいろな所に会社を持っています。そのうちのひとつが平塚にある工場です。本社にもなっています。ここでは全部で約四千人もの人たちが働いているそうです。わたしたちが通っている小学校の全校生徒がだいたい五百人くらい。そう考えるとすごい数ですね。



空から見た日産車体株式会社

工場の中では、流れ作業でひとつづつ部品がつけられ、つぎつぎと自動車が出来上がっていました。大きくて重い部品を車体に取り付ける仕事などは、コンピューターで動く

楽しいお話がいっぱい

ロボットがやります。けれども、細かい作業や組み立てた車の検査などの大切な仕事は、人の手でやりました。

工場で働くたくさんの人たちが、お昼などを食べる食堂も



たくさんの方が働いているんですね

すごい大きさです。席が千席もあり、お昼は千三百食、夜は七百食も作るそうです。台所には「おばけ鍋」と呼ばれている大きな鍋があり、中を見せてもらったらしい。そうなおかずがいっぱい入っていました。少しもらって食べてみると最高においしかった。こんなおいしいものが毎日食べられるなんて、いいなあと思いました。

日産車体では、広い工場の中でほんとうにたくさんの方が、いろいろな仕事をしていました。取材をするまでは、工場の主役は何と言ってもかっこいいロボットだと思っていました。でも、それは大きな間違いでした。働いている約四千人の人たちが、みんなに喜ばれる自動車を造ろうと、汗をいっぱいかきながら仕事をしていました。一人一人が



食堂の宮崎さんに見せてもらった「おばけ鍋」

日産車体のみなさん、これからもがんばってくださいね。いい自動車、わたしたちも乗ってみたいから...